

2018年5月5日(土) ムギイカ 豊漁丸

中潮:旧3月20日 満潮16:21 30cm 翌日 干潮00:26 3cm 満潮08:42 22cm (敦賀港)

スルメイカ 真史: 10杯 ツレ: 6杯

ムギイカ釣りだったが、大型(スルメイカ)だった。

19時30分 現地着

20時00分 受付・釣り座抽選

20時45分 出船 釣り場まで1時間

21時45分 釣り開始 パラシュート釣り

00時26分 干潮3cm(敦賀港)

04時30分 納竿

05時30分 港着

06時00分 帰路

【ムギイカ仕掛け】 2018年4月22日使用したものを再利用

幹糸4号、枝間1.2m、上糸1.2m、

下糸「90cm4号+30cm3号:結び目には透明パイプを通す」

上から

ツレ用

プラヅノ透明

浮きスツテ2.5号赤白

プラヅノ透明ピンク

浮きスツテ2.5号赤緑

プラヅノ透明

真史用

プラヅノ透明

魚形プラヅノ水色

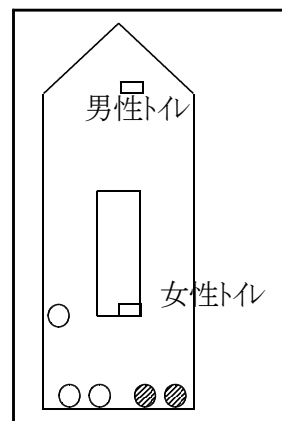
プラヅノ透明ピンク

浮きスツテ2.5号赤緑

魚形プラヅノ透明

水中ライト、おもり100号、80号、60号(今回使用したものは80号のみ)

「水深??m 棚40~60m 60mから上を誘ってください。」:アナウンス



【料金】

○船代 ¥13,000×2名 (氷付き) 深夜便 スーパーロング便

【様子】

○前回、「もっと釣れるようになるだろう」と社長が言っていたので、早めに予約を入れた。

○風予報は4m → 5m → 3mというだった。それほど、強いとは感じなかった。ただし、かなりうねっていた。日本海上に低気圧があったのだろう。二人とも酔い止めは飲んでいたので、すぐに気持ちが悪くなった。

○釣り場まで1時間半かかると言っていたが、1時間だった。うねりがあって行けなかったのだろう。イカが全然いない。

○イカがいる棚を探す。60mから上を誘うと言っていたが、ツレが初めに112mで釣った。二刀流になってからは、130mで入れ掛かりの状況になった。その後、100m~130mでは釣れなくなった。

○ツレは吐き戻し釣りができない。周りでは釣果なしの人が多く、6杯も釣ったのは優秀だ。

○自分も気持ち悪かったが、なんとかしのいだ。ツレが寝ている間は二刀流だった。

【テーマ】

○前回の釣り方で今日も釣れるか確認すること。

「スピード10で巻き上げながら、竿が水平になるよう1回だけしゃくり、糸が1.5m～2m巻き上がるのを待つ。」

→ 当たりの数が多くなかったので、何とも言えないが、この釣り方で良いと思う。

※ダイワ シーボーグ300J スピード10 イカが乗った時の回収スピード 15～17
シマノ 電動丸3000XH スピード4 イカが乗った時の回収スピード 14

○キャッチの方法を確立すること。

ア)「仕掛けが当たりそうな棚に来たら、サミングしながら落としていく。ときどき、落下を止めて当たりがないかを確認する。」 当たりそうな棚とは、上の棚から下の棚まで。(一番上で掛かった所から一番下で掛かった所まで) 今回「40m～60m」「40m～130m」

イ)「手でブレーキを掛けながら5m落とし、5秒ぐらい待つ。」

ウ)「手でブレーキを掛けながら5m落とし、8～10秒ぐらい待つ。」巻き上げの誘いと同じことをフォールで行うと考え、待ちを8～10秒とした。

→ ウ)でやっていたが掛からない。落とし込みでの誘いが雑になったようだ。ツレは前回イ)と言っていたが、今回ア)と言っていた。ツレは落とし込みと巻き上げの往復で誘っていると言っていた。

→ ツレはフォールでの釣りに自信があり、フォールでの誘いが丁寧なのであろう。一方、自分は、フォールで釣れる気がないので、フォールでの誘いが雑になりがちである。往復で誘うことで釣果が上がる。次回はフォールの釣り方を確立すること。

○よく釣れるツノとスッテの見極め

→ 今回、浮きスッテ2.5号赤白とプラヅノ透明ピンクによく掛かった。

→ 一番上のプラヅノ透明にも掛かった。二人とも一番下のプラヅノ透明、魚形プラヅノ透明には一尾も掛からなかった。

以上のことから

→ プラヅノ透明、プラヅノ透明ピンク、浮きスッテ2.5号赤緑、浮きスッテ2.5号赤白は基本で、プラヅノ透明と魚形プラヅノ透明は同等と考えよう。つまり、形は関係ない。

→ 基本形は、ツレ用の仕掛けとしよう。プラヅノ透明は3本しかないので、魚形プラヅノ透明を使うことにする。

→ 上から、 プラヅノ透明(魚形プラヅノ透明、または、魚形プラヅノ水色)
 浮きスッテ2.5号赤白
 プラヅノ透明ピンク
 浮きスッテ2.5号赤緑
 プラヅノ透明

○巻きスピードはこれでよい。

【次回に向けて】

○フォールでの釣り方を確立する。

○仕掛けの作り直し

○巻き上げながらの誘いのスピード

船長と他の客の話を聞いていると、「シーボークのスピード10より速くても良いのではないか」という気がする。船長に確かめるか、釣って確かめるか。

○フォールのスピード

船長のアナウンスでは、「おもり80号の落下速度がちょうど良い」とのこと。それならサミングは必要ないことになる。どのように釣るのか聞いてみたい。